

平成 19 年度 秋期
システムアナリスト
午後Ⅱ 問題

試験時間 14:10 ~ 16:10 (2 時間)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。
2. この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。必ず読んでください。
3. 答案用紙への受験番号などの記入は、試験開始の合図があってから始めてください。
4. 問題は、次の表に従って解答してください。

問題番号	問 1 ~ 問 3
選択方法	1 問選択

5. 答案用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。
 - (1) HB の黒鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
 - (2) 受験番号欄に、受験番号を記入してください。正しく記入されていない場合は、採点されません。
 - (3) 生年月日欄に、受験票に印字されているとおりの生年月日を記入してください。正しく記入されていない場合は、採点されないことがあります。
 - (4) 選択した問題については、選択欄の問題番号を○印で囲んでください。

〔問 2 を選択した場合の例〕

選択欄	問1	○問2	問3
-----	----	-----	----

なお、○印がない場合は、採点の対象になりません。2 問以上○印で囲んだ場合は、はじめの 1 問について採点します。

注意事項は問題冊子の裏表紙に続きます。
こちら側から裏返して、必ず読んでください。

“論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”の記入方法

論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要と，その構想，計画策定又はシステム開発に，あなたがどのような立場・役割でかかわったかについて記入してください。

①～⑤の質問項目に従って，記入項目の中から該当する番号を○印で囲むとともに，（ ）内にも必要な事項を記入してください。複数ある場合は，該当するものをすべて○印で囲んでください。

問1 システム化全体計画におけるシステムアーキテクチャについて

個別に開発された情報システムは、ハードウェア、OS、DBMS、アプリケーション構造などの基本方針としてのシステムアーキテクチャが総合的に検討されていないので、全体の整合性に欠けることが多い。また、新規システムと既存システムとの連携にコストや時間が掛かる、運用や保守のために複数の体制が必要になる、セキュリティ対策が煩雑になる、新技術への適応が難しい、などの問題を抱えていることも多い。このような問題を解決するために、プラットフォームの統一、Web化、セキュリティ管理方針の制定、SOA（Service Oriented Architecture）への移行などのシステムアーキテクチャを検討する必要がある。

システムアーキテクチャを検討するには、例えば、次のような観点から総合的に現状と対比することが重要である。

- ・開発・運用・保守の経済性や効率性
- ・制度改正などの事業環境変化への適応性
- ・技術者の確保・育成の容易性
- ・利用している技術の将来性

システムアナリストは、システムアーキテクチャの検討後、システムの全体像、既存システムの移行方針、今後開発するシステムへの適用方針、予算などを検討し、システム化全体計画に反映させる。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが検討に携わったシステムアーキテクチャの現状と問題点、及びシステム化全体計画の概要を800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたシステム化全体計画における基本方針としてのシステムアーキテクチャはどのようなものであったか。また、どのような観点から、総合的に現状と対比したか、あなたが重要と考えた点とともに具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べたシステムアーキテクチャについて、あなたはどのように評価しているか。今後の課題とともに簡潔に述べよ。

問2 リスクに対応する統制方針に基づいた情報システム構想の策定について

昨今、有害物質が食品に混入するなど、品質面や安全面で事故を起こした場合に、発見が遅れたり、対応が不適切であったりすると大きな経営責任問題になることがある。このような事態に陥らないように、企業は、対応すべきリスクの特定、リスク発生 の予防策、発生した場合の対応策などを明確にした統制方針（以下、リスク統制方針という）を定める。このリスク統制方針を実現するために、情報技術を導入して対応を図ることが多くなっている。例えば、次のようなものである。

- ・食品の安全確保のために、RFID を活用してトレーサビリティを強化する。
- ・医療過誤防止などの業務品質向上のために、カルテなどにバーコードを付けて業務ミスをなくす。
- ・迅速かつ的確なクレーム対応のために、コールトラッキングシステムや音声認識システムを活用して統合コールセンタを構築する。

リスク統制方針に基づいた情報システム構想の策定においては、導入する情報技術やシステム化範囲によって投資額が大きく左右される。システムアナリストは、リスク統制方針に基づいて業務プロセスを設計し、その業務プロセスを実現する情報技術活用の方針を策定する。その上でシステム化範囲を決め、情報システム構想を策定する必要がある。

その際、品質面や安全面のリスクが発生した場合の影響度や損害予想額、情報技術活用への投資額、運用体制などの実現可能性を検討することが重要である。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わった、リスク統制方針に基づいた情報システム構想の策定について、想定されたリスクとリスク統制方針の概要を、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べたリスク統制方針に基づいて、あなたはどのような情報システム構想を策定したか。あなたが情報システム構想において重要と考え、検討した点とともに具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた情報システム構想の策定について、あなたはどのように評価しているか。今後の課題とともに簡潔に述べよ。

問3 経営意思決定を支援するための情報システム構想の策定について

多くの組織で、関係者が様々な経験や情報を共有し、合理的な意思決定を行うために、経営意思決定を支援するための情報システムが導入されている。しかし、現実には、情報システムの本来の導入目的・役割を果たしているとはいえない状況がある。ERPなどの基幹系情報システムに蓄積されている情報だけを経営者に提供するという情報システムも多い。

このような現状から、意思決定に有効な情報を社内外から収集し、経営者に提供する情報システム構想の策定が求められている。経営者が合理的な意思決定を行えるようにするためには、次に挙げるように、重要な意思決定は何か、その意思決定に当たって本当に必要としている情報は何か、その情報をどこから収集し、どのように経営者に提供するかという観点で、情報システム構想を策定する必要がある。

- ・新商品や新サービスの企画にかかわる意思決定のケースでは、競合他社の動向、市場や顧客の意見などの情報が重要である。業界団体などからの他社の販売情報、インターネット上の書込み情報、新聞掲載情報などを収集し、経営者に提供する。
- ・製品やサービスの品質にかかわる意思決定のケースでは、設計上や製造上の不具合に対応するために、技術的な解析結果や社内外の対応実績の情報などを組織で共有する。
- ・企業の社会的責任を果たすための意思決定のケースでは、顧客の生の声が重要である。顧客からのクレーム情報などを経営者に直接提供する。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが構想の策定に携わった経営意思決定を支援するための情報システムについて、必要になった背景及びシステムの概要を、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた情報システムが支援する意思決定、提供する情報、情報源及び提供方法について、あなたはどのように検討し、構想を策定したか。経営者が合理的な意思決定を行えるように、工夫した点とともに具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた情報システム構想について、あなたはどのように評価しているか。今後の課題とともに簡潔に述べよ。

[メモ用紙]

[メモ用紙]

6. 解答に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合は、評価を下げる場合があります。
- (1) 問題文の趣旨に沿って解答してください。
 - (2) 解答欄は、“論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”と“本文”に分かれています。“論述の対象とする構想，計画又はシステムの概要”は、2 ページの記入方法に従って、全項目について記入してください。
 - (3) “本文”について、
 - ・設問アは、800 字以内で記述してください。
 - ・設問イ、ウは、合わせて 1,600 字以上 3,200 字以内で記述してください。
 - (4) 解答は、丁寧な字ではっきりと書いてください。
7. 途中で退室する場合には、手を挙げて監督員に合図し、答案用紙が回収されてから静かに退室してください。

退室可能時間	14:50 ~ 16:00
--------	---------------

8. 問題に関する質問にはお答えできません。文意どおり解釈してください。
9. 問題冊子の余白などは、適宜利用して構いません。
10. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ることができます。
11. 答案用紙は、白紙であっても提出してください。
12. 試験時間中にトイレへ行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は、手を挙げて監督員に合図してください。

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。

なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。